

プロジェクト・ニュース（2023 年 02 月）

タイトル：ペルーのコーヒーと森林モニタリング

プロジェクト一般概要：<https://www.jica.go.jp/project/peru/008/outline/index.html>

コーヒー豆生産量ランキング（2021 年）世界第 1 位のブラジル、同 4 位のコロンビア程の知名度はないと思われるが、ペルーはランキング第 8 位の世界有数のコーヒー生産国であり、アンデス地域、そしてアマゾン熱帯林の標高の高い地域で生産されている。

ペルー人にとってのコーヒーは日常的に飲む必需品である。ペルーでは、コーヒー豆を輸入に頼る日本とは異なり、国内で生産された良質のコーヒー豆を比較的手軽に入手できる。ペルーのコーヒーはコクや苦味は軽めで酸味が強いものが多い。コーヒーの味、嗜好は多様なため好みが分かれるところであるが、香り豊かなペルー産コーヒーは日本へのお土産としておすすめの品である。コーヒー豆は、スーパーマーケットではもちろん、カフェでも手に入れることができる。リマ市には、チェーン店から個人経営まで多くのコーヒーショップが存在するため、これらからお気に入りのコーヒーを見つけるのも楽しみになる。

コーヒーは日々の生活に欠かせない存在であり、更に農家の重要な収入源である。しかし、コーヒーの一部はアマゾン熱帯林を切り開いて作られた農園で生産されている事実も忘れてはならない。本プロジェクトが対象とするサンマルティン州での森林伐採の主因は農地開拓であり、その農地に作付けされる作物の一つがコーヒーである。森林伐採がいつどこで行われているのか、その伐採は違法ではないか？これらの監視・分析を可能とするモニタリングシステムの強化が本プロジェクトの主活動の一つである。無秩序な森林伐採とコーヒー農園開発を防ぐことは、森林保全はもちろん、自然資源利用と適正な市場に構築など持続的コーヒー生産の実現のためにも重要である。

コーヒー豆の国別生産量世界トップ 10（2021 年）¹

順位	国名	生産量（千t）
1	ブラジル	2,994
2	ベトナム	1,845
3	インドネシア	765
4	コロンビア	560
5	エチオピア	456
6	ホンデュラス	401
7	ウガンダ	375
8	ペルー	366
9	インド	334
10	グアテマラ	227



コーヒーの木に実ったコーヒー豆

州別コーヒー作付面積（上位 10 州）と熱帯林減少面積²

順位	州名	コーヒー作付面積 (ha)	熱帯林減少面積 2001 - 2012 (ha)
1	JUNIN	107903.87	85378.59
2	SAN MARTIN	93687.77	311028.84
3	CAJAMARCA	73098.11	10237.05
4	CUSCO	52222.58	42519.78
5	AMAZONAS	42744.26	46575.45
6	HUANUCO	16819.22	193628.70
7	PASCO	11429.03	63017.37
8	AYACUCHO	8782.09	7458.21
9	PUNO	8213.07	12785.67
10	PIURA	4678.20	2342.88
全国合計 (上記以外の州含む)		425415.86	1325239.38



収穫後庭先で乾燥中のコーヒー豆



森林伐採跡に植えられたコーヒーの苗木

¹ 国際連合食糧農業機関（FAO：Food and Agriculture Organization）による統計より作成。

² コーヒー作付面積は国立統計情報研究所（INEI: Instituto Nacional de Estadística e Informática）の実施した 2012 年第 4 回農業センサス（Censo Nacional Agropecuario 2012, <http://censos.inei.gob.pe/cenagro/tabulados/>）より、熱帯林減少面積は森林保全国家プログラム（PNCB）の森林モニタリングシステム（GeoBosques, <https://geobosques.minam.gob.pe/geobosque/view/index.php>）より作成。